

## 科目【国語，数学】

〔各100点  
50分〕

出題科目	ページ	解答できる科目		備考
		総合情報学部	看護学部	
国語	(2)～(27)	○	○	
数学	2～5	○	○	

## ◎「総合情報学部」および「看護学部」の受験者に共通する注意事項

## &lt;注意事項&gt;

- 1 「国語」および「数学」の2科目のうち、いずれか1科目を選択し解答してください。
- 2 解答用紙に受験番号、氏名、フリガナを正しく記入してください。また、受験番号のマーク欄にも必ずマークしてください。
- 3 解答用紙の解答科目欄には、選択する科目を必ずマークしてください。解答科目欄が無マーク、または複数マークの場合、0点となります。
- 4 解答用紙の解答欄は、「国語」と「数学」とで異なっており、色分けして表記されています。解答科目欄にマークした後、矢印に沿って解答欄を確認してください。
- 5 解答には、必ず黒鉛筆（H、F、HBに限る）およびプラスチック製消しゴムを使用してください。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁や乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、挙手の上、試験監督者に申し出てください。
- 7 問題冊子の余白等は適宜利用して良いですが、どのページも切り離さないでください。
- 8 不正行為に対しては厳正に対処します。不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。なお、不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめさせ退室させます。
- 9 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

裏面（B面）にも注意事項がありますので、必ず読んでください。

<注意事項>

解答用紙にマークする際は、下の記入例にならっておこなってください。

- ◆「国語」については、設問ごとに解答番号（   …）  
が示されているので、解答は下の<記入例>にならってそれに対応する解答番号  
にマークします。

<記入例>

設問 1

問 1

1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ◆「数学」については、問題文中の, …などの内の  
カタカナの文字一つ一つには、それぞれ0～9の数字のいずれか一つが対応しま  
す。したがって、解答は下の《記入例》にならって、あてはまる数字をア、イ、ウ  
…で示された解答欄にマークしてください。

解答が分数になるときは、必ず既約分数で答えてください。約分可能な答えは不  
正解とします。

《記入例》

I

ア	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

表面（A面）にも注意事項がありますので、必ず読んでください。

## 数 学

(解答番号  ~ )

I 次の各問いに答えよ。

問1  $(x + 4)(x - 2) = x^2 + \boxed{\text{ア}}x - \boxed{\text{イ}}$

問2  $x^4 - 8x^2 - 9 = (x + \boxed{\text{ウ}})(x - \boxed{\text{エ}})(x^2 + \boxed{\text{オ}})$

問3  $133_{(8)} - 125_{(8)} = \boxed{\text{カ}}_{(10)}$

問4 男子4人と女子3人が1列に並ぶとき、両端が男子となる並び方は 通りである。問5 全体集合が  $U = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9\}$ ,  $U$  の部分集合が  $A = \{1, 3, 5, 7, 9\}$ ,  $B = \{2, 3, 5, 6, 8, 9\}$  であるとき,  $\overline{A} \cap B$  の要素の個数は 個である。問6 次の□の中に当てはまるものを, 以下の1~4から選べ。  
 $x$  を実数とするとき,  $x = 2$  は,  $x^2 = 2x$  であるための .

- 1 : 必要条件であるが十分条件ではない
- 2 : 十分条件であるが必要条件ではない
- 3 : 必要十分条件である
- 4 : 必要条件でも十分条件でもない

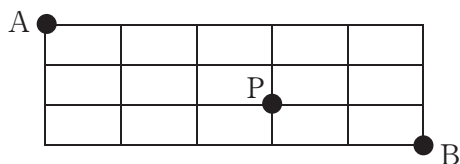
Ⅱ 次の各問いに答えよ。

問1 関数  $f(x) = |x + 2| + |x - 2| + |x - 4|$  の最小値は  である。

問2 6つの数字 0, 1, 2, 3, 4, 5 から、異なる4つを並べて4桁の整数を作るとき、偶数は    通りできる。

問3 生徒5名のテストの得点がそれぞれ 80, 60, 70, 60, 80 だった。得点の分散は   である。

問4 下図のような横方向に4本、縦方向に6本の道がある。点Aから点Bに行くとき、点Pを通る最短経路は   通りある。



Ⅲ 関数  $f(x) = x^2 - 2ax + 2a - b$  がある ( $a$  と  $b$  は定数である)。次の各問いに答えよ。

問1 関数  $f(x)$  が  $x = 1$  において最小となるとき、 $a = \boxed{+}$  である。

問2  $a$  が問1の値のとき、 $y = f(x)$  のグラフが  $x$  軸と交わる2点の間の距離が2であるならば、 $b = \boxed{-}$  である。

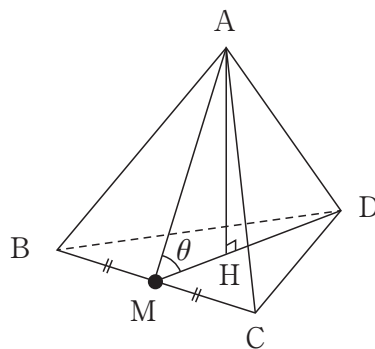
問3  $a$  が問1の値、 $b$  が問2の値のとき、 $-\frac{1}{4} \leq x \leq \frac{3}{2}$  における  $y = |f(x)|$  のグラフの  $y$  座標の最大値は  $\boxed{\times}$  である。

- IV 1 辺の長さが6である正四面体ABCDがある。  
 辺BCの中点をM, 面ABCと面BCDのなす角 $\angle AMD$ を $\theta$ ,  
 頂点Aから面BCDへ下ろした垂線と面BCDの交点をHとする。  
 次の各問いに答えよ。

問1 三角形BCDの面積は  $\square{\text{ネ}}\sqrt{\square{\text{ノ}}}$  である。

問2  $AM = \square{\text{ハ}}\sqrt{\square{\text{ヒ}}}$ ,  $\cos \theta = \frac{\square{\text{フ}}}{\square{\text{ヘ}}}$  である。

問3  $AH = \square{\text{ホ}}\sqrt{\square{\text{マ}}}$ , 正四面体ABCDの体積は  $\square{\text{ミ}}\square{\text{ム}}\sqrt{\square{\text{メ}}}$  である。  
 また, 三角形BCDに内接する円の半径は  $\sqrt{\square{\text{モ}}}$  である。



I 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

花に昆虫がやってくるようになったのは、いつごろからなのだろうか。たとえば、ゴキブリ・カゲロウ・バッタなどの虫は、花にはやってこない。彼らは不完全変態類とよばれる、古いタイプの昆虫である。ところが新しいタイプ、つまり完全変態型のチョウ・ハチ・ハエなどになると、幼虫は別として、親は大幅に花に<sup>(1)</sup>イ存した生活をしている。

中生代のころまではシダ植物の全盛期であり、花というものはなかったから、世界は現在の地球のように美しくなかったと言えるのかもしれない。この時代の古代型の昆虫は、<sup>(2)</sup>栄ヨウ価の高いシダの胞子を食べていた。

その後、植物自身が徐々に変化し、胞子は葉にかたまってつくようになった。そこでどういことが起きたかはよくわからないが、ある時期に、胞子の集中した部分が花になった、と考えられている。胞子を食べていた昆虫が、初期の「花」に集まるようになる、そこから<sup>(3)</sup>花と昆虫の共進化が始まったのである。植物は、虫が寄ってくるようにさせるための花を咲かせ、虫はその花にひかれるという関係が成立し、現在のような花が生まれてきた。

チョウのような新しいタイプの昆虫は、植物が花をつけるようになってから出現したのである。花があったからこそ、チョウが生まれたとも言えよう。花とチョウの関係は、非常に深いものと考えなくてはならないわけだ。

a な言いかたをすれば、花は高等植物の生殖<sup>(4)</sup>キ官である。おそらく花にはそれ以上の機能はないだろう。花を美しいと言うのは b な表現であり、世界には美しくない花も数多く存在している。花びらのない花もたくさんある。花もじつにさまざまな形態で生きているのだ。

チョウにとって花が美しいかどうかはひとまずおくとして、チョウは花をじつに的確に見つけ出す。直径一ミリとか二

ミリの花を、チョウは数十センチの距離から、めざとく認知する。彼らの好む花であれば、ほとんどたちどころに見つけることができるのである。

では、なぜチョウはそれほどまでに花に敏感なのだろうか。花は香り・色・形・蜜と、大別して四つの属性をもっている。香りと蜜を除外するために、造花を使って試してみよう。チョウは造花に飛んでくる。しかも、手まわしよく、口吻をすでにまっすぐ伸ばして……。そこに花の色と形があるから飛んできたのである。そして彼らは、ふつうの花に対するのと同じに、長く伸ばした口吻で蜜を探す。その探しかたは執拗である。秒単位ではなく、分単位で探す。しばらくすると、さすがに彼らはあきらめて、飛び去ってしまう。もし造花に蜜をかけてやっていたら、きっと彼らは花を見つけたと信じて疑わなかったにちがいない。つまり彼らにとって、Xと言える。チョウは色や形で花を見つけ出すからだ。

花の形は、じつにさまざまなものがある。丸いものが多いけれど、花に特有な形というものは存在しない。では四角いカードを針金の「茎」の先に「咲かせて」みたら、彼らはどうするだろうか？ 研究室でそうした実験をモンシロチョウで試みると、彼らは口吻を伸ばしてその四角い「花」に飛んできて、それにとまり、しかも口吻で蜜を探すのである。しかし、やはり天然の花は、彼らにとってたいへん魅力的なものなのである。ほんものの花と色カードを並べてみると、彼らはほとんど必ずほんものの花のほうに行ってしまう。

ノーベル賞を受けた<sup>(注1)</sup> フリツシュのミツバチと花の関係についての研究では、放射状で複雑な形の花ほど、ミツバチがよくやってくるといふ。また、ミツバチにとって複雑な輪郭をしたものは「花」を意味するが、輪郭の単純な丸いものは、まだ蜜を吸えない「つぼみ」を意味するだろうと、ユクスキュルは言っている<sup>(注2)</sup>。

しかしチョウにとっては、単純な輪郭のものと、十字形のものとのあいだに、さしたる差はないらしい。ただ、平面的なカードにリッジをつけて立体的にすると、チョウは平面よりも立体的なものを選ぶ。だから、造花でもホンコン・フラワーなどのほうが、平面的な造花やカードよりも、彼らの好みに合っているのである。

チョウが花にやってくるのは、草原の緑でもなく土の色でもない色彩、つまり黄・青・白・赤・紫……などの色にひかれてである。立体的に複雑にできていればなおよいが、もともと形はどのようであつてもよいのである。

モンシロチョウの好きな色は、紫・黄・青などであるが、赤い色にはやってこない。というのも、モンシロチョウが見える光の波長は、黄色より短い波長の色だからだ。赤は彼らには見え、おそらく暗黒であり、何もないのに等しいのだろう。もし、モンシロチョウを真つ赤な光のなかに置いたとしたら、それは彼らにとつて暗黒のなかに置かれているのと同じである。真つ赤な光のなかを飛ぶモンシロチョウというシーンは、あくまで人間の幻想にとどまる。なぜなら、チョウは暗黒のなかでは飛ばないからである。

ふつう、われわれはモンシロチョウが見えない紫外線の世界、つまり赤までの色彩を見ることができ。しかし、それよりも波長の長い赤外線の世界は見ることができない。波長の短い紫外線も人間には見えない。しかし、チョウには紫外線の一部は見えているのである。

チョウは、この世界をいつたいどのような色彩で見ているのか？ 残念ながらその世界は、人間にとつて実感不可能の世界である。実験や機械をもつて、チョウの見ている世界をつくり出そうとしても、それは不可能だ。なぜならわれわれは、われわれの感覚能力でしか、ものを実感できないからである。そしてその色を類推することも、ほとんどできない。だから、公園の真つ赤なチューリップに、モンシロチョウがやってくるという詩や童謡がよくあるが、これは嘘である。ただ、真つ赤な花でも、なかの黄色いオシベが見えるというような咲きかたであれば、モンシロチョウはやってくる。ことができる。

しかし、すべてのチョウが赤を暗黒と感じているのではない。アゲハチョウは、ツツジの花を好むことからわかるように、赤が見えるのである。チョウを赤の見えるものと、そうでないものと、二つのグループに分けることができる。なぜそうなのか？ これに答えることは難しい。

花の香りは、すくなくともチョウにとっては意味がない。しかし「昼のパピヨン」つまりチョウにとって意味がなくとも、「夜のパピヨン」であるガにとっては、なくてはならないものである。夜に飛ぶガは、花を探すとき、チョウのように遠くからものが見えるわけではないから、花の香りを頼りに花を見つける。一般的に、夜咲く花は香りが強いのもそのためである。

ミツバチなども、匂いを使って花を見つけると言われている。飛んでいくときは色を探し、匂いを感じ、彼ら(4)のスに帰っていくのである。そこでハニータンスを踊り、仲間に花の在りかあを教える。口から出した蜜でその花の香りを、ダンスの向きと速さによって方向と距離を教えるのである。しかし、色彩まで教えることはできない。リクルートされたハチが色彩を覚えるのは、その花のある場所に行つてからのことで、そのときから花を探す方法が、匂いから色へと変わるのである。

花にはさまざまな形態がある。小さい花もあれば大きな花もある。この多様性のすべてが、すべての昆虫に利用されているのではない。香りを手がかりにするものもあれば、色を手がかりにしているものもいるのである。

ここまででは、われわれの見える世界のことである。見えない世界、つまり紫外線の写真を撮ってみると、見えない部分(5)があらわれてくる。その白・黒のパターンは、紫外線を反射している部分としていない部分で、花にあるわれわれの目には見えないパターンが見えてくる。この紫外線であらわれてくるパターンを手がかりとして行動する昆虫も多いのである。

(日高敏隆『ネコの時間』より)

(注1) フリツシユ——オーストリアの動物行動学者(一八八六—一九八二)。

(注2) ユクスキュル——エストニア出身のドイツの理論生物学者(一八六四—一九四四)。

※問題作成上の都合で、原文の一部に手を加えてあります。

問一 傍線部(1)～(4)のカタカナの部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

1 (1) イ存

- ① イ任状を書く
- ② 事の経イを話す
- ③ イ産を相続する
- ④ 仕事をイ頼する
- ⑤ イ民を受け入れる

2 (2) 栄ヨウ

- ① 心が動ヨウする
- ② 人権をヨウ護する
- ③ ヨウ陸作戦
- ④ 先祖を供ヨウする
- ⑤ 凡ヨウな作品

3 (3) キ官

- ① 物価が騰キする
- ② 手先がキ用だ
- ③ 将来をキ惧する
- ④ キ上の空論
- ⑤ 客を乗せてキ車が走る

4 (4) ス

- ① 一帯をソウ索する
- ② 悪のソウ窟と化す
- ③ 重ソウ的な構造
- ④ 情ソウ教育
- ⑤ ソウ動を起こす

問二 傍線部（ア）「花と昆虫の共進化」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～

⑤の中から一つ選べ。

5

- ① 歴史上のある時期にシダ植物が初期の「花」をつけるようになると、それを求めて昆虫が集まり、一方、植物は昆虫が寄つてきやすいように花を変化させ、現在のよな花をつけるようになるということ。
- ② 完全変態型といわれる新しいタイプの昆虫が出現したある時期に、シダ植物の胞子の集中した部分が変化し、初期の「花」が生まれると、それ以降、昆虫は胞子よりも花を好んで食べるようになるということ。
- ③ 古代型の昆虫はシダ植物の胞子を食べていたが、ある時期に初期の「花」を食べるようになると、植物は多くの昆虫を集めるために花をより美しいものへと変化させ、今のよな花になるということ。
- ④ シダ植物の胞子の集中した部分が、ある時期に変化して初期の「花」になり、それを求めて昆虫が集まってくるようになると、それを契機として、地球全体が今のよな美しいものになるということ。
- ⑤ 中世代の頃から徐々に変化してきたシダ植物が、ある時期に初期の「花」をつけるようになると、昆虫がそれを食べるようになり、それとともに、現在の完全変態型へと姿を変えていくことになるということ。

問三 空欄 a ・ b に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

6

- |   |   |       |   |       |
|---|---|-------|---|-------|
| ① | a | 近視眼的  | b | 中長期的  |
| ② | a | 静的    | b | 前衛的   |
| ③ | a | 散文的   | b | 詩的    |
| ④ | a | 形而上学的 | b | 形而下学的 |
| ⑤ | a | 具体的   | b | 抽象的   |

問四 空欄 X に入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

7

- ① 香りと蜜こそが、花を花として知覚することの必要条件なのだ
- ② 蜜こそが関心事であって、香りの存在は付随的なものでしかない
- ③ 花にそなわる四つの属性は、行動を決する上で意味をもたない
- ④ 香りや蜜の存在は、花に寄ってくるまでは必要のないものである
- ⑤ 花の四つの属性を満たささえすれば、造花もふつうの花と変わらない

問五 傍線部（イ）「『咲かせて』みたら」とあるが、ここでカギ括弧が使われているのはどうしてだと考えられるか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

8

- ① 四角いカードを花に見立てているだけであって、実際にほんものの花を咲かせたわけではないということを強調するため。
- ② 針金の先につけた四角いカードを見て、花が咲いているように感じるのはチョウだけであるということを示唆するため。
- ③ ほんものの花にくらべると、針金の先に咲かせた人工的なカードの花は、魅力に欠けるということをほめかすため。
- ④ 四角いカードのような単純な輪郭のものでは、チョウはそれを咲いた花と認識できないということを比的に表現するため。
- ⑤ 実験で用いた四角いカードの花は、本当に咲いているかのように見えるということを、読者にはっきりと伝えるため。

問六 傍線部（ウ）「これは嘘である」とあるが、筆者がこのように言うのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

9

- ① チョウが見ている世界を類推しようとしても、チョウが知覚できる光の波長がわかっていないため不可能であり、したがって、真っ赤なチューリップをモンシロチョウがどう見ているのかもわからないから。
- ② 公園に咲く美しいチューリップにモンシロチョウがやってくるという場面を、人間はしばしば思い描くが、それは現実的にはありえず、詩や童謡の世界で語られるフィクションでしかないから。
- ③ モンシロチョウは赤外線の世界を見ることができないので、この世界はまったくの暗黒であり、したがって、赤いチューリップを探すことはもちろん、それに向けて飛んでいくことも実際にはできないから。
- ④ 人間には真っ赤なチューリップを見ることができるとは、モンシロチョウはその赤を赤としてではなく、おそらく暗黒として見ており、したがって、それに向けて飛んでくることもありえないから。
- ⑤ チョウは一般に、色にひかれて花にやってくるが、光の波長の長い赤外線の世界を見ることができないため、公園に真っ赤なチューリップが咲いていたとしても、それが何であるかわからないはずだから。

問七 傍線部（エ）「ここまでは、われわれの見える世界のことである」とあるが、ここでのわれわれの見える世界に関する説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

10

- ① 人間が直接に知覚できるものだけではなく、幻想やフィクションまで含んでいる。
- ② 同じ対象であっても、そのとらえ方には個人によって差が生じる相対的なものである。
- ③ 他の生物には感じることでできない美しさがあり、そのような意味で優れている。
- ④ 知覚することのできる範囲は限られているため、想像によって補われる部分がある。
- ⑤ 一定の条件付けのもとで成り立っており、世界のすべてをとらえたものではない。

問八 本文の内容と合致しているものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

11

- ① 花の四つの属性のすべてが、昆虫にとってひとしく意味をもつわけではない。たとえば、その属性の一つである香りは、チョウにとっては無意味だが、ガにとっては花を見つげるための不可欠な契機となる。
- ② チョウやハチなどの新しいタイプの昆虫は、花にやってきてその蜜を探すが、古代型の不完全変態類の昆虫はそのようなことをしない。それは、古代の花が今のように美しくなかったからである。
- ③ 人間が見れば赤い花であっても、モンシロチョウはそれを赤い花として知覚することはできない。しかし、それを補うために嗅覚と味覚が高度に発達したので、花の蜜を探し当てることができる。
- ④ 光の波長が短い紫外線を人間は見ることができないが、それを見ることができるときの昆虫は存在する。将来的に技術が発達すれば、昆虫が見ている紫外線の世界を類推的に再現することができるかもしれない。
- ⑤ ほんものの花がモンシロチョウにとって魅力なのは、その形状にかかわらず、蜜を提供してくれるからである。その証拠に、精巧な人工の花であっても蜜がなければ、モンシロチョウは寄ってこない。

## II 次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

私たちの人生はさまざまな出来事の連続である。私たちは生まれ、成長し、古い、最終的に死を迎える。その間に私たちの人生には多様な出来事が生じるだろう。人生を物語として理解するということは、人生において生じるこうした出来事をバラバラに理解するのではなく、それぞれの出来事を相互に結びつけ、何らかの「ストーリー」をもつものとして理解することである。たとえば、生まれたときには恵まれた境遇にあり幸福だったが、だんだんと不幸になっていく人生を考えよう。このとき私たちは、その人生をバラバラの出来事の集まりとしてではなく、「転落の人生」のようなストーリーをもつものとして理解するだろう。

もちろん、現実の人生を物語として捉えるときには、いくつかの注意が必要である。人生の物語において、私たちは自分の行動を自分で決められる点で「X」に近い存在ではあるが、現実の人生は必ずしも「X」の思い通りには進まない。そのため、人生の途中で、物語の理解を修正する必要に迫られることはよくある。たとえば、人生の途中で大きな挫<sup>①</sup>セツを経験した人は、自分の人生を「順風満帆な人生」とは理解できなくなるだろう。さらに、私たちの人生の物語は複雑であり、先ほど述べた「転落の人生」のような単純なものであることはめつたにない。私たちの人生には、よく理解できない出来事や、単純な物語に収まらない出来事が含まれる。したがって、多くの場合、現実の人生を単純な一つの物語として理解することは簡単ではない。

とはいえ、それでも私たちが、自分の人生（の少なくとも多くの部分）を、物語として理解していることは間違いないように思われる。もちろん、こうした考えに対して「自分は利他的に生きており、自分の人生を物語として理解していない」と反論する人はいるかもしれない。しかし、「利他的な人生」もまた、人生の出来事を理解するためのストーリーの一つでしかない。したがって、自分の人生について何も考えないのでもない限り、人生を物語として理解しないことは難しい。

そして、人生を物語として理解することが、人生の価値を評価することと深く結びついていることは、これまで多くの哲学者が指摘してきた点である。私たちが人生の価値を評価するとき、人生のさまざまな出来事の価値をバラバラに評価するなどということはしないし、以下で述べるように、<sup>1)</sup> そもそも困難でもある。むしろ私たちは、人生のさまざまな出来事を物語として捉えたいうえで人生の価値を評価しているのである。

このことを確かめるために、次のような例を考えよう。ある人が受験に失敗したとする。この出来事がどのような価値をもち、その人生の価値にどのように関わるのかは、実際には、この出来事を単独で捉えるだけではわからない。たとえば、もし当人が受験の失敗をきっかけに別の目標をもち、後にそれを達成したならば、受験の失敗は「人生の転機」として意味づけられ、肯定的に評価されうる。その場合には、その人生全体も「受験の失敗を転機にして新たな目標を達成した人生」と評価されるだろう。しかし、もし当人が受験の失敗によって意欲を失い、その後<sup>2)</sup>に辛い人生を送るならば、受験の失敗は「不幸の始まり」と意味づけられ、負の評価を受ける。【a】さらに、その場合には人生全体も、「受験の失敗をきっかけに不幸が続いた人生」として評価されるかもしれない。このように、人生における個々の出来事の価値はその出来事だけでは決まらず、前後の出来事とともにどのような物語として理解されるかによって変化する。そして、人生全体の価値の評価も、人生に含まれる出来事がどのような物語として理解されるかによって変わるのである。

これと同じことは、人生の重要さの評価についても成り立つように思われる。何かが重要であることは、それが「注目に値する」価値をもつこととして理解できる。そして、ある人生が注目に値する価値をもつかどうかは、その人生がどのような物語として理解されるかによって変わる。実際、<sup>3)</sup> 多くの伝記の目的の一つは、人生に生じた出来事を物語として描き出すことで、その人生の物語に含まれる注目すべき価値を理解できるようにすることである。このことは、人生を物語として理解することが、人生の重要さの評価に関わることを示しているだろう。

ここまで、私たちが人生を物語として理解していることと、そのことが人生の重要さの評価と深く結びついていることを確認してきた。次に確認したいのは、こうした物語的な理解に基づく人生の重要さの評価が、多様なものであることで

ある。

【b】そのために、ひとまず現実の人生の物語ではなく、フィクションで描かれる人生の物語について考えてみよう。現代に生きる私たちは、アニメ、漫画、ゲーム、ドラマ、小説、映画などを通じて様々なフィクションを鑑賞している。こうしたフィクションにおいては、さまざまな人生の物語が描かれる。さて、ここで一つの問いを考えてみよう。こうした物語を鑑賞するとき、私たちは、どのような人生の物語に注目し価値があると考えようか。

もちろん、この問いに対する答えは人によってさまざまだろう。しかし、おそらく言えるのは、こうした評価を行なう際に、私たちは、重要性についての成果主義的な捉え方だけに基づいて評価することはないということである。【c】私たちは、ある登場人物の人生が注目に値する価値をもつかどうかを考えるときに、その成果の大きさだけでなく、登場人物の人生の物語に備わるさまざまな価値——たとえば、その人生に固有の美しさやかっこよさなど——も考慮する。むしろ、こうした場面でただ成果の大きさ（他者への影響の大きさ、その足セキの大きさ）だけに注目するのは、ひどく奇妙なことでもある。なぜならそれは、宇宙を破壊しようと企む暗黒神と戦い、宇宙を救うファンタジー作品の登場人物の人生の物語が、それだけでどんな人生の物語よりも重要だと考えるようなものだからである。

現実の人生ではなく、フィクションの人生を考える利点は、この点に気づくことができることである。フィクション作品には、実際に宇宙全体に影響を与えたり、宇宙を破滅から救ったりする人物がそれなりに登場する。しかし、私たちの多くは、Y。これはもちろん、私たちが、フィクションの登場人物の成果をまったく評価しないということではない。しかし、私たちがあある人生の重要性を高く評価するときには、単に宇宙を救ったことだけでなく、その人生の物語に備わる、その人生に固有の生き様の美しさなども考慮しているはずである。

【d】私たちは、確かに、大きな成果を残した偉人の人生を重要なものとみなしている。しかし、こうした評価は、必ずしも偉人が成し上げた成果の大きさだけに基づくものとは限らない。私たちは同時に、その人生の物語に含まれる他の価値——新たな挑戦を繰り返したことや、苦難に負けなかったことなど——も評価しているだろう。さらに、私たちは一

般に、必ずしも大きな成果に結びつかない人生の物語に、注目すべき特別な価値がありうることを認めている。【e】たとえば、成果の点ではナイチンゲールやシェイクスピアに遠く及ばないとしても、苦しい状況でも常に明るく患者を支える看護師や、売れなくても情熱的に作品に取り組む作家の人生は、私たちにとって特別な注目に値するものでありうる。日常的な文脈においては、私たちにとって重要な人生は、偉人たちの人生だけではないのである。そしてこのことは、人生の重要性についての私たちの評価が、人生に固有の物語を評価することに基づく多様なものであることを示している。

（鈴木生郎「広大な宇宙のなかでちっぽけな人生に何の意味があるのか」

〈森岡正博・蔵田伸雄編『人生の意味の哲学入門』所収〉より）

※問題作成上の都合で、原文の一部に手を加えています。

問一 傍線部(1)～(3)のカタカナの部分と同じ漢字を用いるものを、次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

12 (1) 挫セツ

- ① 屈セツした心理
- ② 足の関セツを痛める
- ③ 密セツな関係
- ④ セツ実に悩む
- ⑤ 自然のセツ理

13 (2) 足セキ

- ① セキ年のおもかけ
- ② 除セキ処分
- ③ 逃亡者を追セキする
- ④ 微分セキ分
- ⑤ 情勢を分セキする

14 (3) 成しトげた

- ① 未スイに終わる
- ② 微スイを帯びる
- ③ 一スイもできない
- ④ 純スイな水
- ⑤ 国力がスイ退する

問二 次の文が入るべきところは、本文中の【a】～【e】のうちのどれか。最も適当な箇所を、後の①～⑤の中から一つ選べ。

同じことは、現実の人生の重要さの評価にも当てはまるだろう。

15

- ① 【a】    ② 【b】    ③ 【c】    ④ 【d】    ⑤ 【e】

問三 傍線部（ア）「何らかの『ストーリー』をもつものとして理解する」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

16

- ① 私たちは、人生に生起する出来事の一つ一つを別個のものとは考えず、前後にある出来事と関連付け、一連の物語を構成するものとして捉えているということ。
- ② 私たちの人生は多様な出来事から構成されており、あたかも一つの物語のようであるが、私たちは人生が「注目に値する」ものであるかどうかを重視するということ。
- ③ 私たちは、さまざまな出来事から構成される人生を、何らかの虚構性を帯びた物語であるとみなし、その上で、人生の価値を評価するものであるということ。
- ④ 私たちは、一人一人の人生はまったく無関係に存在しているのではなく、相互に結びつき、全体として一つの大きな物語を作り上げていると考えるということ。

⑤ 私たちの人生は多くの出来事の連続であるが、それらの出来事は最初から無関係ではありえず、あたかも一つの物語をなすかのように生起するということ。

問四

空欄

X

に入る言葉として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

17

- ① 読者
- ② 作者
- ③ 識者
- ④ 演者
- ⑤ 論者

問五 傍線部(イ)「そもそも困難でもある」とあるが、筆者がそのように考えるのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

18

- ① 現実の人生に対する評価は、個々の出来事についてそのたびに行われるのではなく、人生全体がどれだけの成果を残したかという俯瞰ふかん的な観点から行われるから。
- ② 人生に対する評価とは、必ずしも成果の大きさに向けられるのではないため、日常的な些細ささいな出来事が「人生の転機」として評価される可能性もあるから。
- ③ 一人の人生においてもさまざまなる出来事が起きるが、それらに対する評価は、人生の当事者によってではなく、外部の第三者から概括的に行われるものだから。
- ④ 人生で起こる一つ一つの出来事はそれだけで意味が完結しているものではないため、何が「人生の転機」になったのかは、事後的にしかわからないから。
- ⑤ 人生とは、そこで起こる一つ一つの出来事において評価されるのではなく、一つの全体性をもつ物語として、それが重要なものかどうか評価されるものだから。

問六 傍線部(ウ)「多くの伝記の目的の一つ」として、筆者はどのようなことを考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

19

- ① 人生の真の価値を理解するためには、些末な出来事の一つ一つを問題にするのではなく、人生全体を総体として捉える必要があることを広く伝えること。
- ② 人生全体を物語として描き出し、そこで起こるどのような出来事も「注目に値する」価値をもつということを、広く語り継いでいくこと。
- ③ 現実の人生をフィクションとして描くことによつて、その人生全体のストーリー性を際立たせ、その価値を誰もが理解できるかたちにするここと。
- ④ 人生全体をストーリー仕立てにし、一つの物語として描くことを通じて、「人生の転機」となるような出来事の価値を顕在化させること。
- ⑤ ストーリー性のあるものとして人の一生を描き出すことによつて、個々の出来事の価値ではなく、人生全体の価値を捉えられるようにすること。

問七 傍線部(エ)「ひどく奇妙なことでもある」とあるが、筆者がそのように考えるのはなぜか。その理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

20

- ① 成果主義的な人生の捉え方は、人生が美しかったり魅力的であったりすることばかりを重視するという点において、きわめて主観的なものにならざるをえないから。
- ② 成果主義的な人生の捉え方には、ファンタジー作品に登場する人物の物語と、日常世界の人生とを比較し、前者の価値を高く評価するようなどころがあるから。
- ③ 成果主義的な人生の捉え方では、人生が結果的にどのような意味をもつかという点に固執することになり、その過程にある個々の出来事の価値を見誤ってしまうから。
- ④ 成果主義的な人生の捉え方は、ある出来事の価値だけで人生を評価するものであり、そうであれば、人生の物語に含まれる価値を度外視することになるから。
- ⑤ 成果主義的な人生の捉え方は、人生の価値をその成果に基づいて客観的に評価するものであるが、実際には、評価が人によって大きく異なるということが起こるから。

問八

空欄

Y

に入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

21

- ① その点だけをもって作品を評価するのではなく、むしろ全体のストーリーを重視する
- ② 単にそのことだけに基づいて、その人生がもつとも重要な人生だと評価したりはしない
- ③ その登場人物の人生を全体として評価するのであって、成果のみを見ようとはしない
- ④ 登場人物が歩んできたその人生よりも、宇宙を救ったという成果の方に注目する
- ⑤ フィクションにすぎないという一点をもって、その作品の価値を認めることはない

問九 本文における筆者の主張として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

22

- ① 現実の人生は利他的であるとともに複雑であり、単純な物語として捉えることには限界があるが、そのような人生全体を一つの完結した存在として客観的に理解しようとするのが、成果主義的な捉え方である。
- ② どのような人生であつても、何らかのストーリーをもつたものとして理解されるのは、私たち自身が利他的な存在ではなく、できれば後世に語り継がれる存在でありたいと願っていることの、一つ表れでもある。
- ③ 私たちは一般に、特に大きな成果を生み出すことのない人生であつても、そのストーリーに価値があると評価するのであり、その意味では、市井の人々の人生も偉人の人生と同じように重要なものとなりうる。
- ④ フィクションに登場する人物が、成果主義的な観点から評価されることが多いということは、翻つて、成果主義的な観点に基づいては、現実の人生の価値を正當に評価できないということを証し立てている。
- ⑤ 私たちは人生を個々の出来事に注目して理解するのではなく、一個の物語として理解するが、その重要性の評価は結局、相対的なものとならざるをえないため、かえつてそこに多様性が生まれることになる。

Ⅲ 後の設問に答えよ。(各問において選択肢を重複して選ばないこと。)

問一 次の1～5の四字熟語の空欄に入る漢字として最も適当なものを、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

27	26	25	24	23
5	4	3	2	1
適材適	四	志貫徹	出	行無常
□	□	□	□	□
	五経		進退	

- ① 初
- ② 書
- ③ 所
- ④ 処
- ⑤ 諸

問二 次の1～5の成句の意味として最も適当なものを、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

28	1	青筋を立てる
29	2	色を失う
30	3	赤面の至り
31	4	紫の朱を奪う
32	5	黒白を争う

- ① 邪道なものが正しいものにとって代わる
- ② ひどく怒ったり興奮したりする
- ③ 心配や恐れなどで顔が真っ青になる
- ④ どちらが正しいかはつきりさせる
- ⑤ 自分を情けなく感じて恥じ入る

問三 次の1～5の小説家の作品を、後の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

33	1	開高健
34	2	三浦哲郎
35	3	石原慎太郎
36	4	井上靖
37	5	安部公房

- ① 『輝ける闇』                      ② 『忍ぶ川』                      ③ 『しろばんば』  
④ 『箱男』                              ⑤ 『狂った果实』